



## ACEは未来の北海道を共創する



帯広畜産大学  
Agriculture



小樽商科大学  
Commerce



北見工業大学  
Engineering

三大学の有する研究成果、人的資源等を活用した商農工融合による学術振興及び研究成果の社会実装を推進し、地域社会の持続的発展に貢献するとともに三大学の教育研究活動の活性化を図る。

## 産学官金連携促進によるイノベーションの創出

管理運営部門

データ統合・ICT  
利活用部門

研究推進部門

知的財産部門

ビジネス開発部門

# 管理運営部門 令和6年度活動報告

## 1 ACEメンバー & 関連研究者の情報交換・交流促進

→ACEメンバー間を中心とした情報交換を実施

(4/18岸本教授@北見、5/17三枝准教授@帯広、6/27北川教授@東京、  
7/5古林副センター長@北見、1/25川口センター長・古林副センター長・本間特任准教授@札幌 等)

## 2 広報関係

→7/11 ACE運営会議にてロゴマーク決定 → [詳細](#)

(スライド2枚目)

→パンフレット更新、ホームページ検討

→機構出展イベントへの協力 (8月：環境広場さっぽろ、12月：エコプロ)

[詳細](#)

(スライド3枚目)

## 3 教員紹介ランチタイムwebセミナー → [詳細](#) (スライド4枚目)

→2月末までに5回実施 (各回30~40人程度が参加) →定着化へ

## 4 「エア・ウォーターの森」入居

→5/29 ACE 2階オフィス利用契約完了

→12月 ACE入居開始 (12/6 オープニングセレモニー)

→2/13 北海道国立大学機構とエア・ウォーター北海道社 包括連携協定 締結



## 5 ACE分野融合研究に関するアンケートの実施 → [詳細](#)

(スライド5枚目)



# ACEロゴマークの作成

KPI達成のためには、ACE認知度の向上が不可欠



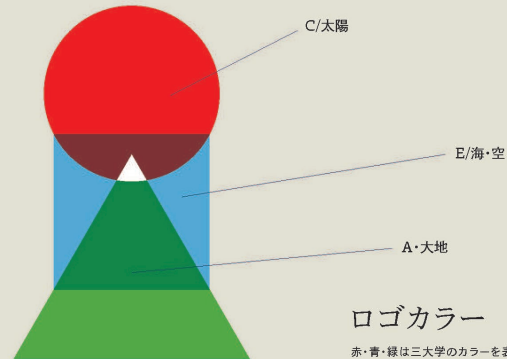
視覚的に訴えるロゴマークを作成することで、ACE広報力強化

## Concept

それぞれのアイデンティティが重なり、  
生まれる共創の光

「●▲■」は3大学それぞれを表しており、この図案は三つの面積も正確に等しいものになっています。三大学を●▲■で表現する上でAgricultureの「A」が▲、Commerceの「C」が●、Engineeringが■と頭文字のシルエットともリンク。さらに色分けしたことで、レイアウトの構成が「手前に広がる大地、その奥に海、そして日が登る」シーンに見えることから「日が登る=明日→未来」とACEが目指す未来の北海道を共創すると言うコンセプトにも通ずる意味合いがあります。

## シンボルマーク



## ロゴカラー

赤・青・緑は三大学のカラーを表現した配色となっております。ピピットなら色が重なりあう事で、力強さが生まれます。

ACE

Agriculture/Commerce/Engineering

ロゴタイプB 英語表記: K2D medium

「ACE」のロゴタイプは視認性が高い細めのラインで構成し、エッジを斜めにカットする事で、未来的・革新的なイメージを与えています。

## ロゴタイプ

AGRICULTURE  
COMMERCE  
ENGINEERING

ロゴタイプA 英語表記: K2D medium

こちらを単体で使うのはお控えください。

## ロゴマーク決定に至るまでの経緯

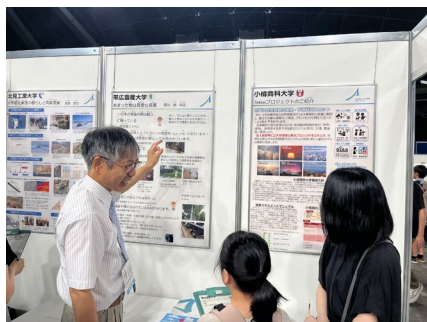
- R5.9 ビジネス開発部門から、ロゴマーク作成による広報強化の提案あり
- R5.10 ACEへの追加配分があった場合にロゴマークを作成することが、ACE運営会議で了承（その後、R5年度ACEへの追加配分は見送り）
- R6.6.18 R6年度予算でACEロゴマークを作成することが、教育研究連携評議会です承同会議において、デザイン会社から提案された6つの案について、役員と懇談
- R6.6.24 ACE運営会議でACEロゴマーク決定

ACEパンフへの掲載、展示会用ポスターに使用、封筒や展示会用テーブルクロス等作成

# 機構出展イベントへの協力

## 環境広場さっぽろ

実施日：令和6年8月24日～25日  
(2日間)  
会場：大和ハウスプレミストドーム  
(札幌ドーム)  
来場者数：1万8千人(2日間合計)



次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市  
【環境首都・SAPPORO】夏休み親子イベント

SAPPORO x エコチル  
環境広場 さっぽろ2024

8.24 ± 25日 10:00-16:00 札幌ドーム 入場無料

知りあふちん  
親子で楽しめる  
オリジナル  
スタンプラリー  
プレゼント!

さっぽろ子育て!  
ご家族で  
楽しめる  
オリジナル  
スタンプラリー  
プレゼント!

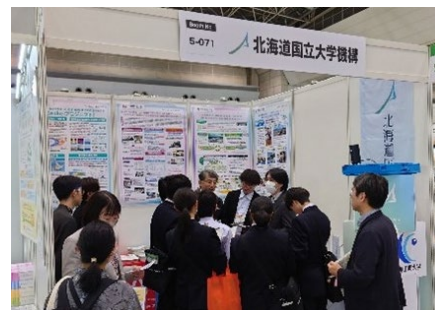
エコチルクーポンにて発行!

Think Green  
環境首都 SAPPORO

SAPPORO 札幌市 Advcom 株式会社アドコム

## エコプロ2024

実施日：令和6年12月4日～6日  
(3日間)  
会場：東京ビッグサイト  
(東京国際展示場)  
来場者数：6万3千人(3日間合計)



環境・インフラ・脱炭素 社会課題解決  
SDGsWeek EXPO 2024

エコプロ

カーボンニュートラルテクノロジー

社会インフラテクノロジー

自然災害対策展

サーキュラーパートナーシップEXPO

2024年12月4日(水)～6日(金) 10:00～17:00  
東京ビッグサイト [東ホール] 入場無料 [事前登録制]

Think Green  
環境首都 SAPPORO

SAPPORO 札幌市 Advcom 株式会社アドコム

<https://www.nuc-hokkaido.ac.jp/news/4701/>

4

<https://www.nuc-hokkaido.ac.jp/news/4955/>



# ACE分野融合研究に関するアンケートの実施

**主旨：** 3大学の教員（研究者）の取り組んでいる研究のアウトラインを把握することで、分野融合型研究のマッチング可能性の分析や、交流イベントへの候補選定がしやすいようデータを収集

**実施期間：** 令和6年12月25日～令和7年1月20日

アンケート集計



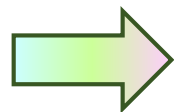
ACEとIICが  
分析・活用

	回答者数 (a)	協力的な研究者数(b)	$b/a * 100$
小樽商科大学	29	23	79.3%
帯広畜産大学	37	35	94.6%
北見工業大学	42	42	100%
合計	108	100	92.6%

1/25 ACEによる打合せ  
(川口・古林・本間)

1/29 IIC・ACE連絡会

アンケートに回答していただいた研究者のうち  
92.6%、実に100人がACEに協力的



研究マッチング、教員交流の場のセッティング等により  
分野融合型研究の新規創出へ直接働きかけ



## ACEは未来の北海道を共創する



帯広畜産大学  
Agriculture



小樽商科大学  
Commerce



北見工業大学  
Engineering

三大学の有する研究成果、人的資源等を活用した商農工融合による学術振興及び研究成果の社会実装を推進し、地域社会の持続的発展に貢献するとともに三大学の教育研究活動の活性化を図る。

## 産学官金連携促進によるイノベーションの創出

管理運営部門

データ統合・ICT  
利活用部門

研究推進部門

知的財産部門

ビジネス開発部門

# 令和6年度の活動実績（部門別）

## データ統合・ICT利活用部門

### 「デジタル産学融合ラボ」「OA加速化事業」との調整

令和6年度においては、データ統合・ICT利活用部門単体での活動ではなく、デジタル産学融合ラボおよびOA加速化事業における認証統合、シングルサインオン、データ管理等での連携が活動の中心となった。

### データ管理統合環境「ORION」の再定義

OA加速化事業推進にあたり、これまでACE単独で提供してきたデータ管理統合環境である「ORION」を、機構構成員全体での利用と再定義し、旧来の「ORION」をより一般化したものとして再設計した。旧来のORIONの今後については検討中である。

### 旧来の「ORION」の試用継続

ACEの知的財産部門およびZekkei Projectに加え、「十勝地区におけるデータベース作成」のチームにも旧来のORIONの試用を開始。

### NII RCOS（オープンサイエンス基盤研究センター）との定例会実施

NII RCOSのGakuNinRDM（G-RDM）開発担当者とは2週に1回ほどのペースで定例会を実施し、G-RDMの機能拡充およびORIONとの連携を進めた。



### NIIとの研究データバックアップ試験

NII（国立情報学研究所）のデータバックアッププロジェクトと連携し、ORIONのデータストレージをNIIのバックアップストレージにバックアップする仕組みを構築中。年度内に試験運用を開始する予定。NIIのストレージとはL2VPNで接続し、セキュアなデータ保存を実現する。

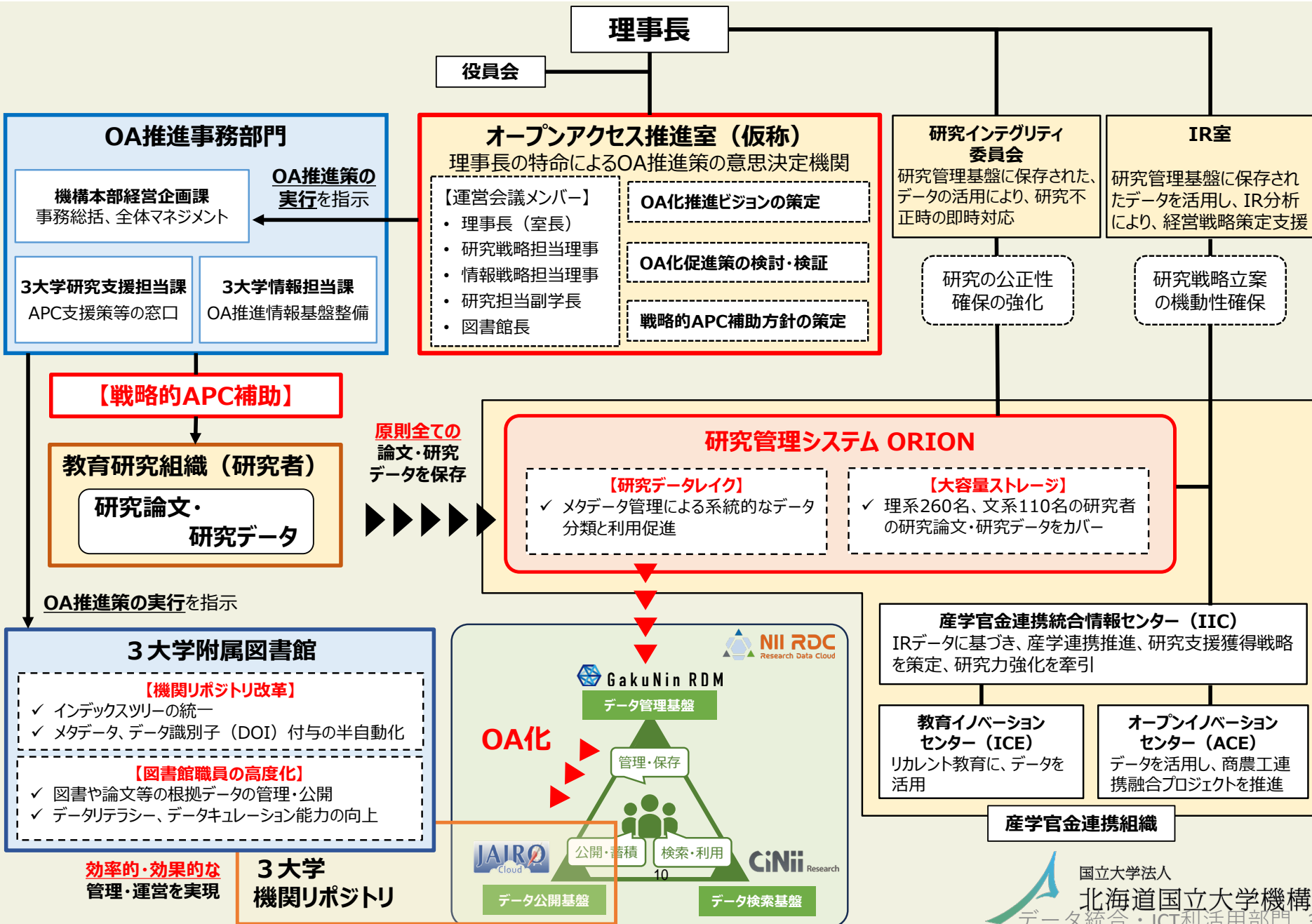
### GakuNin RDM-JAIRO Cloud連携先行試用への参画

OA加速化推進に向けてNIIが提供予定であるGakuNin RDMと学術リポジトリJAIRO Cloudの連携サービスに北見工大分として先行試用に参画した。

### 研究データポリシーの具体的な実施手順作成

研究データポリシーについては令和6年度で機構として策定されたが、より細かな実施手順については未着手の状態であるため、令和6年度中にICT利活用部門を中心としたキックオフミーティングを予定（3月中に開催を目指す）。

# 参考：OA加速化事業と新しいORION





## ACEは未来の北海道を共創する



帯広畜産大学  
Agriculture



小樽商科大学  
Commerce



北見工業大学  
Engineering

三大学の有する研究成果、人的資源等を活用した商農工融合による学術振興及び研究成果の社会実装を推進し、地域社会の持続的発展に貢献するとともに三大学の教育研究活動の活性化を図る。

## 産学官金連携促進によるイノベーションの創出

管理運営部門

データ統合・ICT  
利活用部門

研究推進部門

知的財産部門

ビジネス開発部門

# オープンイノベーションセンター (ACE) ～研究推進部門～

## 令和6年度活動報告

北見工業大学 社会連携推進センター  
オープンイノベーションセンター 研究推進部門長  
内島典子 (文責)

2025<sub>12</sub>.2.28.

## 1. 3 大学間研究連携創出・支援

・・・スライド番号3ー8

- 1) オープンイノベーション促進共同研究
- 2) 大学教職員等交流支援
- 3) 共同研究推進

## 2. 3 大学間研究連携マッチング・探索

・・・スライド番号9ー11

- 1) 研究連携コーディネート
- 2) 研究シーズマッチングシンポジウム

### 事業目的：

萌芽的な研究発掘や挑戦的な研究課題や、企業等との共同研究費の一部を補助し、3大学研究の取り組みを活性化

研究領域：      1) 防災                      2) 観光                      3) 農林水産業  
                         4) ヘルスケア      5) 物流                      6) 冬季スポーツ

研究支援：      最大150万円/年

### 審査の視点：

- 1) 技術シーズの新規性・優位性
- 2) 3大学の連携や分野融合研究の促進性
- 3) 北海道の地域課題解決や経済の発展への貢献
- 4) 研究開発の目標や計画の妥当性・実行可能性

A: 帯広畜産大学、B: 北見工業大学、C: 小樽商科大学  
継続3件(1~3)、新規4件(4~7)

2023年度採択実績 5件  
2022年度採択実績 2件

2024年度 採択テーマ	連携体制 (敬称略)
1) 北方系小果実・生薬原料成分の機能性評価と食品開発を目指した社会実装へのアプローチ	渡辺 純 A、窪田さと子 A、 新井博文 B、 <b>企業との共同研究</b>
2) 十勝地域における市町村議会データベースの構築と現地フィールドワークの連携分析による地域課題抽出及び地域課題解決提案手法の検討	河野洋一 A、東 陽介 A、 木村泰知 C、 <b>中札内村との共同研究</b>
3) 北海道発の新規反芻胃メタン抑制剤におけるカーボクレジットを活用した商流イノベーション戦略立案	大湊亮輔 C、福間直希 A、 宮下和夫 A
4) 「種子のポリマーコーティングによる秋播き栽培システム」のスタートアップ	浪越 毅 B、藤見佳奈枝 C
5) エゾシカの生態と人の認知特性を考慮した運転者の行動変容を促すロードキル対策手法の開発	富山和也 B、浅利裕伸 A
6) 道東大規模畑作における圃場水循環可視化基盤の構築	渡邊達也 B、片岡沙都紀 B、 東 陽介 A
7) AI画像解析によるアズキのフェノタイピング技術の確立と葉の形態に関する遺伝子領域の特定	森 正彦 A、楊 亮亮 B

研究推進部門...4

## 2) 大学教職員等交流支援

### 事業目的：

3 大学間を往復する旅費・宿泊費を支援し、3 大学間交流を促進することにより、商農工連携による共同研究等への発展を推進

### 募集内容：

- A) 3 大学での新規連携研究検討
- B) 実施中の 3 大学連携共同研究に関する競争的研究費への応募等検討
- C) 3 大学共同研究につながる可能性のある 3 大学の共用設備の利用  
および利用検討


申請対象経費： 3 大学間の移動にかかる旅費  
(1 提案につき申請者を含む最大 3 名分まで)

支援期間： 2024年7月29日～2025年3月14日



A: 帯広畜産大学、B: 北見工業大学、C: 小樽商科大学

2024年度実績 6件 (2025/2/7時点)  
 2023年度実績 4件

2024年度 交流内容	交流体制 (敬称略)
1) 乳製品製造工場および牧場現場の生産性向上に向けた共同研究検討	ウアテイ B、学生1名 B → 藤倉雄司 A
2) 持続可能な医療・介護サービス提供体制の構築に向けた共同研究検討	酒井大輔 B、学生1名 B → 藤原健祐 C
3) エア・ウォーター北海道と北海道国立大学機構との共同研究探索  関連 (スライド10)	楊亮亮 B、新井博文 B → 北川泰治郎 C
4) 地方の医療資源不足へ向けた新しいリハビリサービス構築へ向けた共同研究検討	酒井大輔 B、学生1名 B → 藤原健祐 C
5) 2025年2月帯広の記録的大雪に関する災害調査	白川龍生 B → 東陽介 A
6) 機械学習を用いた犬の避妊手術プロセスのフェーズ自動判別を用いた共同研究探索	楊亮亮 B、学生2名 B → 上村 暁子 A

### 3) 共同研究推進

#### 農林水産研究推進事業委託プロジェクト 研究現場ニーズ対応型プロジェクト

・(2020～2024)約7000万円x5年

#### 課題名:大規模飼料生産体系における収穫作業の人手不足に対応する技術開発

・帯広畜産大学、北見工業大学、産業界3社

#### 研究推進状況:

- ・トラックガイダンスシステムの試作品を作成
- ・10月特許出願(特願2024-176243 伴走車両の運転支援装置、運転支援方法及びプログラム)
- ・現場実証試験を行いながら現場での使用感に合わせて改良
- ・2025年度中の商品化を目標
- ・農林水産省から広報の強化を要望
- ・実証試験時に広報ビデオ作成し展示会で活用予定

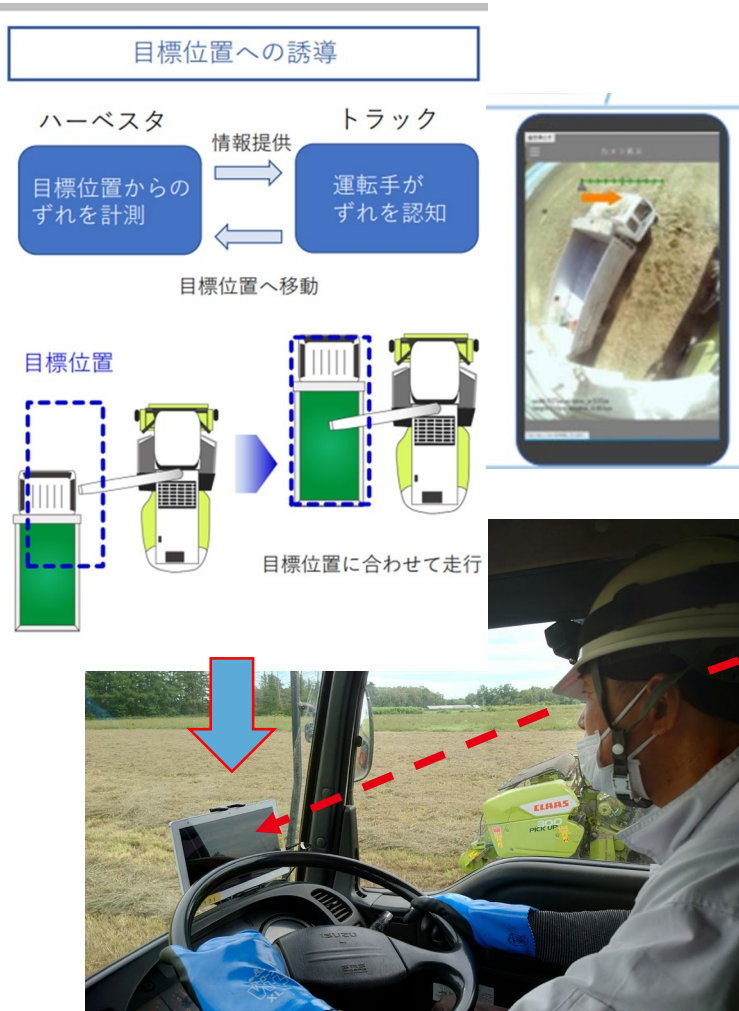
#### 研究推進プロセス(2024年度):

- 7/30 トラックガイダンスシステム実証試験@別海
- 8/22 トラックガイダンスシステム実証試験・意見交換@帯広
- 10/22 セミナー発表 スクラム十勝シンポジウム@帯広
- 11/6 一般農業者向け現場デモンストレーション会@帯広
- 11/7 展示会発表 ビジネスEXPO@札幌
- 11/20 紹介ビデオ作成、大学HPで公開(<https://www.youtube.com/watch?v=fpXzgytLKBQ>)
- 11/26-28 展示会発表 アグリビジネス創出フェア@東京
- 12/12 美野里酪農コントラクター普及活動@茨城
- 2/12 北海道コントラクター協議会研修会@札幌
- 2月予定 熊本県コントラクター組織普及活動@熊本



### 3) 共同研究推進





#### 8/22実証実験の様子



産学官で研究推進会議実施 (8/22)

・帯広畜産大学・北見工業大学・農林水産省・企業3社

研究推進部門...8

コーディネート活動内容	連携・日程等
1) 北海道エアポート社へ女満別空港活性化に関するプロジェクト創出の提案	小樽/企業
2) 自治体に対する情報発信プロジェクト創出、旧校舎等の活用に関する意見交換開始	小樽/自治体
3) 農業防災課題に関するドローン技術について意見交換	北見/帯広 6/21
4) 農業地域におけるソーラーパネルの有効活用について意見交換	帯広/北見 6/21,11/13
5) Zekkei観光 Juery-ice予測の豊頃町との連携強化に関する打合せ  関連 (スライド10)	北見/帯広 7/16,1/31
6) 中札内村議会データベース構築共同研究意見交換  関連 (スライド10)	帯広/小樽 8/16,10/29
7) VR技術関係者を迎えての搾乳現場見学会・意見交換会	帯広/企業 8/20
8) トラックガイダンスシステム実証試験・意見交換  関連 (スライド7および8)	帯広/北見 企業 7/30,8/22
9) ドローンによる土壌表面状態リモート分析に向けた意見交換会	北見/帯広 8/21
10) 森林DX共同研究検討会	北見/帯広 8/30
11) エア・ウォーター株式会社との研究シーズ意見交換会  関連 (スライド10)	北見/小樽 12/25
12) 北海道経済産業局との意見交換会	小樽/北見/帯広 3月実施予定

### 5) Zekkei観光 Juery-ice予測の豊頃町との連携強化に関する打合せ

#### ● 豊頃町役場との意見交換会

日時: 2025年1月31日(木) 13時00分～

場所: 豊頃町役場 2F 集会室

内容: ジュエリーアイス予測及び観光促進について研究報告  
 意見交換



豊頃町役場

### 6) 中札内村議会データベース構築共同研究意見交換

#### ● 中札内村議会議員との地域課題懇談会

日時: 2024年10月29日(火) 15時30分～

場所: 中札内村 農村環境改善センター 2F 大集会室

内容: 共同研究事業の概要 / 説明議会データベースデモ  
 2023年度取組み報告 / 地域課題における意見交換



中札内村農村環境改善センター

### 11) エア・ウォーター株式会社との研究シーズ意見交換会

#### ● オープンイノベーションセンター研究シーズ意見交換会

日時: 2024年12月25日(水) 14時00分～

場所: エア・ウォーターの森 1F ホール

内容: 「食」「医療」「エネルギー」に関する研究シーズ情報提供  
 意見交換



エア・ウォーターの森

自然と調和するテクノロジーの発展を目指して

北見工業大学

## SEEDS NEEDS MATCHING SYMPOSIUM 2024

北見工業大学

シーズ・ニーズ マッチング シンポジウム 2024

北見工業大学講堂 (北見市公園町165番地)

# 11.14

13:00 ▶ 17:00

北見工業大学の研究者と地域の企業や自治体との連携を深める一環として、大学が持つ研究シーズを広く知っていただくとともに、地域の企業や自治体が抱えるニーズとのマッチングを図ります。

**基調講演** 14:45▶15:45

**地域課題・資源のデザインが生み出す産業創造と多様な連携**

岩井 宏文 氏

株式会社研究推進センター / 株式会社環境アスベスト 代表取締役

国民全体の食糧を支える北海道の農業水産地域は、残念ながら持続可能な状況にはありません。今、過労死が頻発する農漁、取り巻く環境・資源の枯渇が深刻で、そのデザインから新たな産業創造や多様な連携、資金循環が生み出されるメカニズムを紹介いたします。

**ポスターセッション** 13:00▶14:45 / 15:45▶17:00

北見工業大学では、エネルギー・環境、工業連携、加工連携、寒冷地対応、冬季スポーツ科学など、地域の特色を色濃く反映した個性豊かな研究に取り組んでいます。ポスターセッションではそれら研究について紹介します。

**研究テーマ(一部)**

- ▶ウエアラブル空調用マイクロ冷源層機の研究開発
- ▶微生物のつくりにおけるプロセス開発技術に関する研究
- ▶3次元プリンティング技術を用いた多孔質構造の作成
- ▶AIを活用した野菜・果物の収穫ロボット
- ▶未知なる自然発光現象のメカニズム解明とその観光資源化
- ▶「化学物質に頼らない」抗菌性を付与可能な全量炭素処理技術の開発
- ▶CO2ハイドレート触媒サイクルによる蓄電・発電設備

**開設特報**

**オープンイノベーションセンターの紹介**

西館2階会による三大学(小樽医科大学、帯広畜産大学、北見工業大学)連携プロジェクトや小樽医科大学、帯広畜産大学が取り組む研究(一部)をご紹介します。

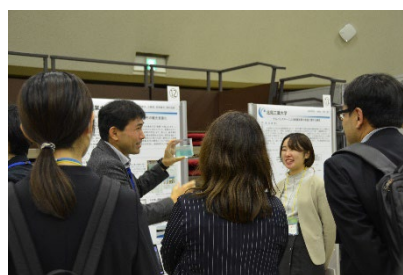
申し込み・問い合わせ先

北見工業大学研究協力課地域連携係  
〒090-8507 北海道北見市公園町165番地  
TEL 0157-26-9154 FAX 0157-26-9155  
E-Mail kenkyu09@desk.kitami-it.ac.jp

お申込はこちら

多くのご参加を  
お待ちしております。

主催 / CRC 北見工業大学 社会連携推進センター 共催 / ACE 国立大学法人北海道国立大学機構 オープンイノベーションセンター



●北見工業大学シーズ・ニーズ マッチングシンポジウム2024  
日時: 2024年11月14日(木)  
13時00分~17時00分  
場所: 北見工業大学 講堂  
主催: 北見工業大学  
共催: オープンイノベーションセンター  
内容: 基調講演 / ポスターセッション

3大学の研究シーズ全28テーマの  
プレゼンテーション・ポスターセッション

参加者: 約120人  
北海道内企業(主としてオホーツク圏)  
金融機関  
産学官連携支援機関(北海道経済産業局、北海道開発局、ノーステック財団、JST、NEDO)  
行政機関(オホーツク圏自治体)



## ACEは未来の北海道を共創する



帯広畜産大学  
Agriculture



小樽商科大学  
Commerce



北見工業大学  
Engineering

三大学の有する研究成果、人的資源等を活用した商農工融合による学術振興及び研究成果の社会実装を推進し、地域社会の持続的発展に貢献するとともに三大学の教育研究活動の活性化を図る。

## 産学官金連携促進によるイノベーションの創出

管理運営部門

データ統合・ICT  
利活用部門

研究推進部門

知的財産部門

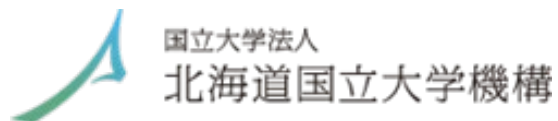
ビジネス開発部門

北海道国立大学機構 オープンイノベーションセンター

# 知的財産部門

## R6年度 年度活動報告

2025. 2. 17 現在

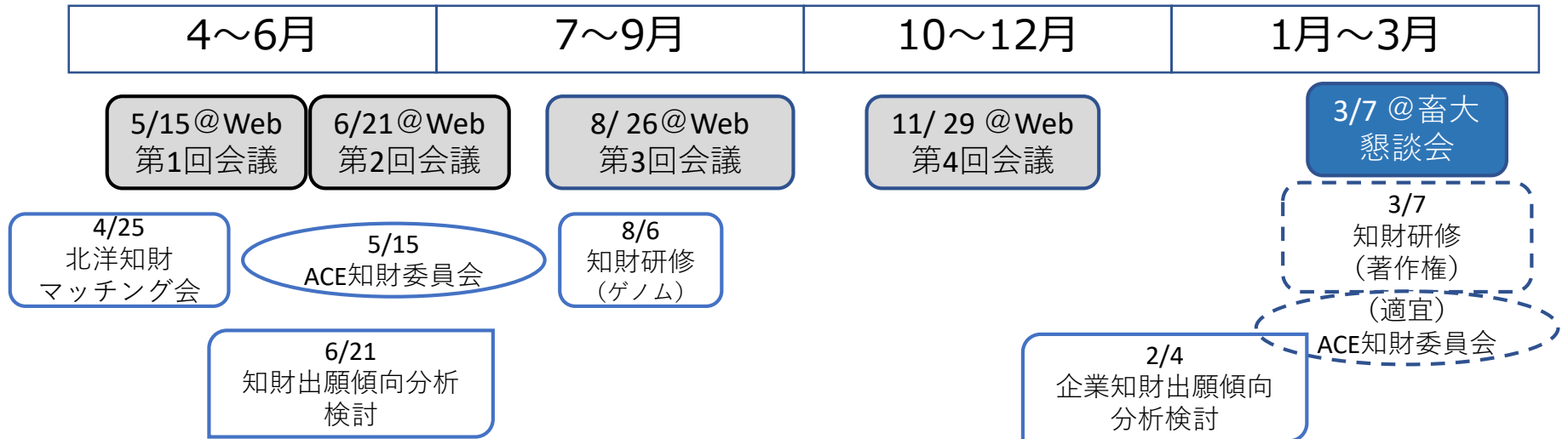




# R6年度 活動計画

## ●R6年度 目標

OIC案件の知財出願支援  
知財啓発・発掘活動強化  
効率運営加速



R6予算調整

R7予算調整

統一知財管理DB作成

ORIONを使った知財部門管理

IICと連携した知財発掘・活用活動強化

# 第一回ACE知財委員会実施と知財出願支援

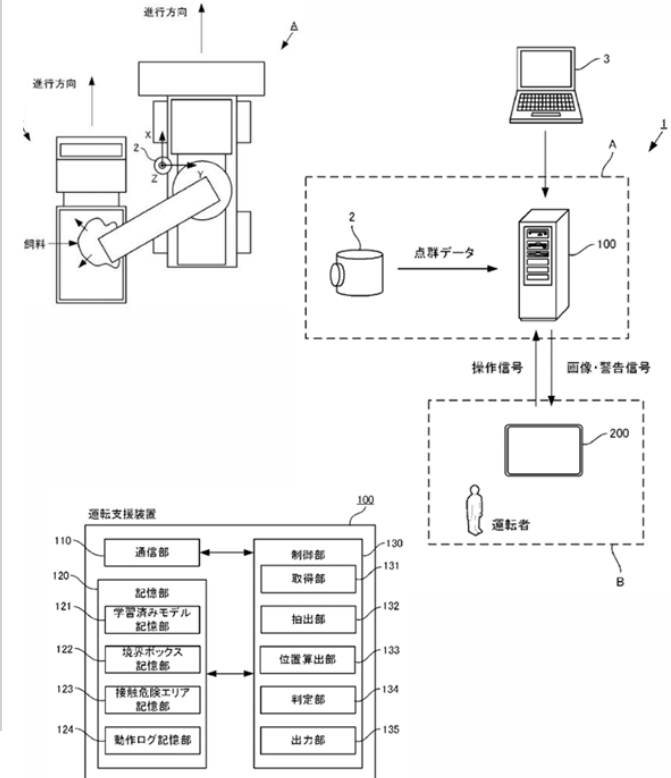
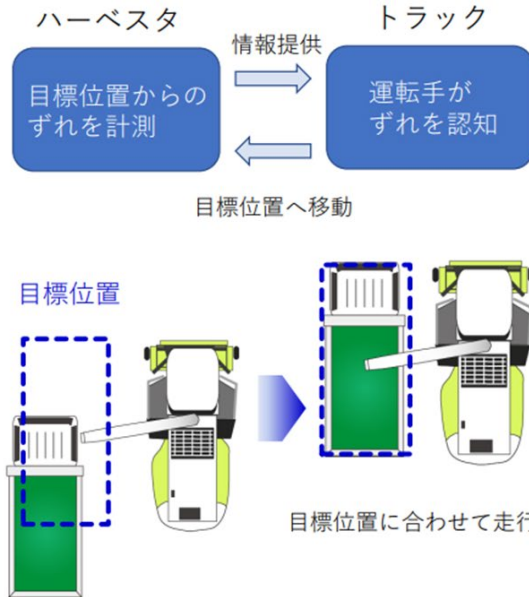
- ・ 昨年整備した要項に基づき、**5/15に第一回のACE知財委員会開催。**
- ・ 北見工大/帯畜大連携プロジェクトの**トラック伴走サポートシステム特許出願審査実施。**
- ・ **ACE予算で出願予算拠出を決定。特許出願完了。**

(北見工大：星野洋平、楊亮亮、松本経、帯広畜産大学：花田正明)

## 伴走サポートシステム



## 目標位置への誘導





# 機構内向け知財啓発セミナー実施

バイオ関連最新技術の解説と留意点に加え、**関連技術の特許出願動向**解説、**特許出願啓発**。

**デジタル時代の著作権、共同研究先を探す際の知財情報活用**手法等啓発

令和6年度北海道国立大学機構FD・SD研修会(仮称)の開催について(案)

1) 目的  
北海道国立大学機構教職員を対象に、研究成果の知財化やその管理に携わる教職員を対象に、研究者が知るべき著作権の基礎、特に問題となる引用と複製に加え、昨今のデジタル技術(Web/AI 他)に関連する著作権の留意点について理解を深めるとともに、知財情報を活用した共同研究等のパートナー企業の探し方や、企業に刺さる連携提案の手法を学ぶことを目的とする。

2) 開催日時  
令和7年3月7日(金) 15:00 ~ 17:15

3) 開催方法・場所  
対面とオンライン(zoom)によるハイブリッド開催  
(対面開催場所:帯広畜産大学総合研究棟I号館・2階E2503会議室)

4) スケジュール(案)  
開会挨拶:オープンイノベーションセンター・副センター長 古林 与志安  
講演(1):「大学における教育・研究活動と著作権」  
～デジタル時代における著作権はここに注意!～  
独立行政法人 工業所有権情報・研修館(INPIT)  
知財戦略エキスパート 平出 高久氏(60分)

講演(2):「明日から使えるパートナー企業探索術」  
～INPITの大学向け知財支援もご紹介～  
独立行政法人 工業所有権情報・研修館(INPIT)  
知財活用支援センター・知財戦略部長 鷲崎 亮氏(60分)  
※各講演時間は質疑応答を含む。

その他(15分)  
・競争的研究費に関する最新情報:  
1) スタートアップ向けGAPファンドについて  
2) ノーステック財団の研究補助金について  
ノーステック財団 事業戦略統括部 副部长 三井 祐介氏

閉会挨拶:産学官金連携統合情報センター・副センター長 前川 慎喜

「ゲノム編集技術の正しい理解と活用を目指して」

8/6(火)

学生/院生も参加OK!

参加申込はこちら

<https://forms.gle/Ju5X7idWkGHY8oFk6>

締切:8/2(金)



15:30~17:15

講義棟25番講義室

+オンライン配信(Zoom)

現地は飛び入り参加OK!

15:30~15:35 開会挨拶  
帯広畜産大学産学連携センター 副センター長  
(兼)北海道国立大学機構 オープンイノベーションセンター 知的財産部門長  
東 陽 介

15:35~15:50 「我が国の農林水産業をめぐる事情」  
農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課イノベーション戦略室 課長補佐  
新地 智 秋

15:50~16:45 講義「品種改良とゲノム編集」  
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
企画戦略本部 研究管理役 高 原 学

16:45~16:55 質疑応答+アンケート

16:55~17:10 講義「ゲノム編集にかかわる我が国各大学の特許出願動向」  
北海道国立大学機構 産学官金連携統合情報センター 特任准教授  
高 橋 成 典

17:10~17:15 本学の関連規程・問い合わせ先の紹介  
帯広畜産大学 研究支援課 研究支援係長 池 田 章 人

主催:帯広畜産大学産学連携センター  
共催:北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター  
北海道国立大学機構産学官金連携統

お問い合わせ先

帯広畜産大学 産学連携  
Email: crcenter@obihiro.ac.jp



参加者:49名(北見10、小樽9、帯広27、機構3)

【感想】「ゲノム編集に関する知財を検討する上でねらい目の領域が

わかった。」等

参加者:予定約40~50名

# 未利用特許の利用促進に関する活動

- ・北洋銀行と連携し、未利用特許をとりまとめ/プレゼン実施。道内企業12社が参加。
- ・北見工大と連携し、シーズ・ニーズマッチングシンポジウムにて北見地域の企業に知財紹介。
- ・機構活動の啓発及び未利用特許の実施権許諾を通じた収入増を目指す。

ものづくりに関わる  
中小企業の開発者・経営者の皆さまへ

## 北洋銀行

### 知財ビジネスマッチング2024

◎大学が保有する特許を使って新事業や商品開発に活用してみませんか？  
◎地域の大学との連携や共同研究などに興味はございませんか？

こんなお客さまにおすすめ

- 新商品開発のアイデアを探している
- 新事業に挑戦したい
- 製品の開発コストや時間を削減したい
- 技術面の課題を解決したい
- 自社製品の付加価値・信頼度を高めたい

1商談/30分  
参加無料

日 時：2024年4月25日（木）10:00～17:00  
場 所：北洋大通センタービル4階セミナーホール  
(札幌市中央区大通西3丁目7番地)

面談方法：対面形式  
※ご来場が難しい場合はオンライン対応可

主催：株式会社北洋銀行  
共催：国立大学法人北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター  
(小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学)  
後援：北海道経済産業局、北海道、札幌市、日本弁理士会北海道会、一般社団法人北海道発明協会  
特別協力：北海道信用金庫、空知信用金庫、北門信用金庫、伊達信用金庫、北空知信用金庫、日高信用金庫、渡島信用金庫、帯広信用金庫、網走信用金庫、札幌中央信用組合、函館商



自然と調和するテクノロジーの発展を目指して 北見工業大学

## SEEDS NEEDS MATCHING 北見工業大学 SYMPOSIUM 2024

北見工業大学開校 北見工大開校165周年

### シーズ・ニーズ マッチング シンポジウム 2024

11.14 13:00 ▶ 17:00

北見工業大学の研究者と地域の企業や自治体との連携を深める一環として、大学が持つ研究シーズを広く知っていただくとともに、地域の企業や自治体が抱えるニーズとのマッチングを図ります。

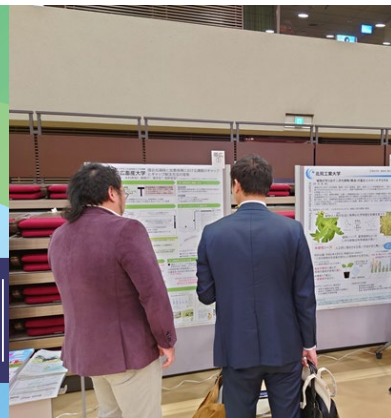
本開演 地域課題・資源のデザインが生み出す産業創造と多様な連携  
岩井 宏文氏 株式会社OBS産業化設計/株式会社積丹スピリット 代表取締役

ポスターセッション 北見工業大学研究者による研究プレゼンテーションを実施

お申し込みはこちら

TEL 0157-26-8154 FAX 0157-26-8155  
E-Mail kankyo@iit.ac.jp

主催/ CRC 北見工業大学 社会連携推進センター 共催/ ACE 国立大学法人北海道国立大学機構 オープンイノベーションセンター



JRA 帯広畜産大学

### 国産チーズスターター開発普及プロジェクト

チーズスターターとは？

- ・フリーズドライ加工によって生きたまま粉末化された乳酸菌
- ・チーズを形作るための乳酸菌、美味しくするための乳酸菌、複数種の乳酸菌が混在しています

プロジェクトの背景と目的

- ・日本のチーズは国際的にも高評価
- ・チーズスターターは外国産に依存
- ・チーズの熟成庫容量は飽和状態
- ・国産チーズスターターを開発して外国産チーズとさらなる差別化
- ・さらに熟成期間短縮効果のあるスターターを開発して生産効率UP

国産ナチュラルチーズの国際競争力強化



# 部門内資料共有および知財管理の効率化

- 知財部門の打合せ情報を旧ORIONシステムを使って一括管理・共有。
- 3大学知財管理データの統一フォーマット化。管理、分析の効率化へ

OrionWeb

知的財産部門情報共有システムの構築

知的財産部門情報共有システムの構築

①資料フォルダ    ②スケジュール管理    ③意見交換

tsumi  
知的財産部門情報共有システムの構築のS3ストレージ(for institutions)にファイル(O3. OIC 知財部門会議資料RS/230619\_第二回OIC知財部門会議/②【資料】20230619 ACE 令和5年度第2回知財部門会議.pdf)を追加しました。

東 陽介  
タスク #34: 第二回知財部門会議資料作成  
東 陽介さんは書きました部門メンバー用 資料作成  
2023年6月11日(日) 15:24

東 陽介  
タスク #35: 現地開催Web開催か  
2023年8月9日(水) 10:41

(帯広/産連)東陽介  
@帯広(事務)吳大晃 連絡できておらず申し訳ありません。修正ありません。  
1件の返信 17日前

(小樽/企業法)才原慶道  
@帯広(事務)吳大晃 確認しました。

議事録、各種資料、作業内容等を大学間で簡便に共有！

項目統一

3	届出整理番号(通し番号)	通し番号 (xx)
4	外国出願の有無	O/-
5	現状(ステータス)	手続中/特許権/出願中/出願中断中/審査中/拒絶/急特/返渡
6	所属	(記述)
7	発明者(敬称所帯名のみ)	(記述)
8	職務発明等の名称	(記述)
9	発明の名称(出願後)	(記述)
10	研究分野	ライフサイエンス/医薬品/食品衛生/環境/情報通信/ナノテクノロジー
11	知的財産権の種類	特許/商標/実用新案/著作権/プログラム/その他 (記述)
12	出願年月	西暦年 (yyyy)
13	(権利持分)発明者氏名	個人/企業との共同/公的機関との共同
14	(権利持分)出願人	(記述)
15	費用負担	(記述)
16	審査請求年次	(記述)
17	OIC案件	(記述)

プログラム作成/検索抽出

届出整理番号 (組織)	届出整理番号 (年度)	届出整理番号 (通し番号)	外国出願の有無	現状 (ステータス)
(選択)	西暦年(yyyy)	通し番号(xx)	(選択)	(選択or記述)
KIT	2008	1		消滅



- 知財部門会議関連議事録やデータ共有
- Slackでお知らせや意見交換
- 3大学の知財管理DBフォーマット統一検討
- 同じ方法で管理、分析し易い形に



## ACEは未来の北海道を共創する



帯広畜産大学  
Agriculture



小樽商科大学  
Commerce



北見工業大学  
Engineering

三大学の有する研究成果、人的資源等を活用した商農工融合による学術振興及び研究成果の社会実装を推進し、地域社会の持続的発展に貢献するとともに三大学の教育研究活動の活性化を図る。

## 産学官金連携促進によるイノベーションの創出

管理運営部門

データ統合・ICT  
利活用部門

研究推進部門

知的財産部門

ビジネス開発部門

オープンイノベーションセンター（ACE）  
**ビジネス開発部門**  
**令和6年度活動報告**

オープンイノベーションセンター（ACE）  
ビジネス開発部門長

玉井 健一



# ビジネス開発部門

## [前期活動状況]

	...	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
社会実装 支援助成		6/14 募集開始			9/27 募集〆切 →応募なし	審査委員会 →決定→ 支援開始						
展示会等 出展・参加			7/24 北洋銀行 ものづくり サステナ フェア				11/7-8 ビジネス EXPO  11/12-13 Matchin g-HUB Hokuriku		1/27 チャレンジ フィールド 北海道シ ンポジウム	2/12 産学官 連携 フォーラム		
オープンイ ノベーション セミナー		※道内3拠点で開催						11/25 帯広畜産 大学企画 版開催				(予定) 3/4 北見工業 大学企画 版開催 3/18 小樽商科 大学企画 版開催
随時		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス相談</li> <li>・社会実装等の案件発掘</li> <li>・ACEの産学連携ネットワークの強化、融合型共同研究創出のための活動</li> </ul>										

**ACEの産学連携ネットワークの強化、融合型共同研究創出のための活動の継続**  
既存連携先との交渉による、ネットワーク構築・維持強化を図る。

### ■産学融合拠点創出事業

#### 【チャレンジフィールド北海道（ノーステック財団）】

- ・北川教授が継続して副総括エリアコーディネーターを務める。
- ・上級エリアコーディネーターとして、玉井部門長、内島教授、東准教授、三枝准教授（他部門構成員）が引き続き事業を推進する。

#### ▶進行中のプロジェクト（3大学で取り組んでいるもの）

「生産空間の維持形成に資する物流基盤整備」

「ビッグファーマーズと共創する植物由来資源利用活性化」

「道内広葉樹の資源管理と効率的活用を目指したDX推進」

※ACE案件として認定済

インタラクティブな関係性、  
イノベーション創出で新しい社会をめざす。

現在、北海道内の大学・国研が力を結集して技術シーズを持ち寄り、そして市場のニーズをとらえ、プロジェクトを展開しています。ここには先の未来を見据え何をこの北海道に残し活用していくのか、技術シーズと市場ニーズのインタラクティブな統合からイノベーションが期待されています。そのためにも大学・国研は多くの企業や自治体とコミュニケーションを活性化させ、新しい社会をめざし挑戦していきます。



副総括エリアコーディネーター  
北川 泰治郎

## ACEの産学連携ネットワークの強化、融合型共同研究創出のための活動の継続

既存連携先との交渉による、ネットワーク構築・維持強化を図る。

### ▶チャレンジフィールド北海道シンポジウム 出展

「チャレンジフィールド北海道」が、大学や企業との連携による活動の紹介、および未来に向けた北海道内の取組について考え、関係者とのつながりを作ることを目的に開催するもので、今後の北海道の共創活動に関する講演、大学のスタートアップに関するパネルディスカッションなどが行われた。

ポスターセッション・交流会には、ACEの取組紹介のパネルを展示し、副総括エリアコーディネーターの北川教授が、来場者への説明を行った。

### 【イベント概要】

チャレンジフィールド北海道シンポジウム⑪～地域×知×共創フォーラムⅡ～

開催日時：令和7年1月27日（月）13:00～17:00

会場：ANAクラウンプラザホテル札幌3階 鳳  
（札幌市中央区北3条西1丁目2-9）

入場料：無料

定員：120名

主催：チャレンジフィールド北海道

## ACEの産学連携ネットワークの強化、融合型共同研究創出のための活動の継続

既存連携先との交渉、新規企業からの申し入れを契機に企業との接触を開始し、ネットワーク構築・維持強化を図る。

### ■社会実装に向けたACE案件発掘

- ・エア・ウォーター健都※（大阪府摂津市）における、ヘルス（健康）、セーフティ（防災）、アグリ（農業）、フーズ（食品）分野での共同研究によるシーズ開拓の為の訪問、意見交換実施  
※7/18現地訪問：川口ACEセンター長、北川教員、岸本専任教員  
（※エア・ウォーター健都：エア・ウォーターグループのイノベーション・技術開発関連拠点施設）

### ○北海道エアポート株式会社との共同研究における連携事業

- ・校舎転用の社会実装について行政および金融機関においてヒアリングを実施  
※6月：礼文町、利尻町、利尻富士町、豊富町、幌延町  
※7月：稚内市、枝幸町、中頓別町、浜頓別町

### ■機構発認定スタートアップ企業のフォロー

- ・令和5年度に認定され、会社設立した「エイチスリー(株)」の事業化推進支援。  
※認定大学発スタートアップ企業の代表者は、規定により、称号付与の期間中、年度毎に、事業報告書及び収支決算書の理事長への提出が義務付けられている。（エイチスリー(株)称号付与期間：令和5年7月4日～令和10年5月31日）

**ACEの産学連携ネットワークの強化、融合型共同研究創出のための活動の継続**

新規ネットワーク形成の為のプラットフォームへの参画

(道経連関係、全道産学官ネットワーク推進協議会主催セミナー、企業との連携等)

**■全道産学官ネットワーク推進協議会**

- ・玉井部門長、内島教授が、構成員として登録  
※産学官連携フォーラムに、本間教員が参加 (2/12)

**■産業界、行政、大学とのネットワーク基盤の強化**

- ・経済産業省産学融合拠点創出事業、文部科学省スタートアップエコシステム形成支援事業を活用し、北海道内の企業や他大学との連携強化、経済産業省地域オープンイノベーション拠点選抜制度等の調査を実施するとともにネットワーク構築をさらに推進
- ・自治体と接触し、地域が抱える課題について解決策を探るための枠組みに関する協議の実施

**■エア・ウォーター北海道株式会社との連携強化**

- ・エア・ウォーター北海道株式会社との包括連携協定締結
- ・「エア・ウォーターの森※ (札幌市)」入居  
(※エア・ウォーターの森：エア・ウォーター株式会社によるオープンイノベーション推進施設)

## ACE活動の広報

各種展示会に、ACEおよび3大学合同で出展し、取組紹介を行うことで、認知度を高めるとともに、産業界とのマッチングにつなげる

### ■北洋銀行ものづくりサステナフェア2024出展

- ・北海道ものづくり産業から持続可能な未来を創造することを目的とした、ものづくり産業の関係者が一堂に会する展示型商談会で令和6年度は<つくる、つながる、つづく～ものづくり産業が支える北海道の成長へのチャレンジ～>をテーマに開催された。
- ・オープンイノベーションセンター（略称：ACE）、小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学が、「社会の多様な期待に応えるオープンイノベーション促進」と題して、部門の取組事例などを紹介した。

### 【イベント概要】

北洋銀行ものづくりサステナフェア2024

日時：令和6年7月24日（水）

10:00～17:00

会場：アクセスサッポロ

（札幌市白石区流通センター4丁目）

入場料：無料

主催：北洋銀行



開会式：  
主催 北洋銀行 頭取 津山博恒氏による挨拶



本機構ブース

### ACE活動の広報

各種展示会に、ACEおよび3大学合同で出展し、取組紹介を行うことで、認知度を高めるとともに、産業界とのマッチングにつなげる

#### ■ビジネスEXPO2024～第38回北海道 技術・ビジネス交流会出展

- ・北海道最大級のビジネスイベントで、令和6年度は＜“創造的破壊”を北海道から～GX/DX/SXで革新的イノベーションを～＞をテーマに、ACEが展示する「学術・試験研究機関ゾーン」のほか、「未来創造ゾーン」「先端技術ゾーン」など、7つのゾーンでの展示が行われた。
- ・ACE、小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学が、「社会の多様な期待に応えるオープンイノベーション促進」と題して、部門の取組事例などを紹介した。

#### 【イベント概要】

ビジネスEXPO2024～第38回北海道 技術・ビジネス交流会

開催日：令和6年11月7日（木）、8（金）

会場：アクセスサッポロ

（札幌市白石区流通センター4丁目）

入場料：無料

主催：北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会



### ACE活動の広報

各種展示会に、ACEおよび3大学合同で出展し、取組紹介を行うことで、認知度を高めるとともに、産業界とのマッチングにつなげる

#### ■ Matching HUB Hokuriku 2024 出展

- 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学が中心となって進めている地方創生、地域活性化の取り組みであるMatching HUBの構想のもと企画開催される「Matching HUB Hokuriku」において、パネル展示を行い、北川教授がACEの取組を紹介した。また、ブースには、ACEのパンフレットのほか、各大学の大学案内等を設置し、3大学の経営統合について周知した。

#### 【イベント概要】

Matching HUB Hokuriku 2024

開催日：令和6年11月12日（火）、13（水）

会場：ANAクラウンプラザホテル金沢  
（石川県金沢市昭和町16-3）

入場料：無料

主催：国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学





## ACE活動の広報

### ■オープンイノベーションセミナー開催（道内3拠点）

#### 【帯広畜産大学】

「適切な公共育成牧場運営を目指して」と題し、地域の課題である公共育成牧場の運営について、子牛を預ける農家と子牛を預かる公共育成牧場関係者や他の多様な村内関係者が一堂に会し、専門家の講演をヒントに今後の公共育成牧場の在り方について意見交換を実施。（11/25）

※参加者数：30名

参加者属性：酪農家、預託牧場経営者、村会議員、役場職員、地域財団、農業改良普及センター、全農、大学教員、小樽商大学生、新聞社、他

#### 【北見工業大学】

北見工業大学と中小企業家同友会オホーツク支部は、2004年に包括連携協定を締結してから20周年を迎えた。この節目となる機会に、両者の連携活動の活性化に向け、北見工業大学ラボツアー事業を実施する。北見工業大学が取り組む研究について紹介し、本事業をオープンイノベーションセンター（ACE）の取り組みや3大学で取り組んでいる研究についても知っていただく機会としてオープンイノベーションセミナーとして開催する。（3/4実施予定）

※参加者数（予定）：30名

#### 【小樽商科大学】

人口減少・高齢化が進行し、地域社会・経済の持続性に対する深刻な影響が懸念される中、ヘルスケアサービスによる健康寿命の延伸や家族介護者の負担軽減が期待される中、産×学×官のオープンイノベーションによるヘルスケア産業の創出・振興と社会課題解決に向けた機運醸成を目的として開催する。（3/18実施予定）

※参加者数（予定）：60名